



War Cry

9月号

福音版  
2026  
September  
No.2911

二〇二六年 九月一日発行

明治二十八年創刊

福音版・毎月一日発行 広報版・奇数月十五日発行

# GOOD NEWS とぎのこえ

## 究極の選択

田口 哲也



令和八年熊本地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます被災地の皆様の心の平安と、一日も早い復旧をお祈りいたします。

秋の夜長、深夜のラジオ番組で、リスナーの投稿による「究極の選択」というコーナーが流行ったことがあります。言葉遊びのようでもあり、機知に富んだ内容もあり、印象深く思い出すことがあります。

Weblio 辞書の日本語表現辞典によると、「究極の選択」とは、「どちらを選択しても重大な損失が生じるなどの理由で、容易には決められないが、いずれかを選ばなければならないこと、あるいはその選択問題を意味する語」とあります。新約聖書の記事には、イエス・キリストが律法学者と対峙して「究極の選択」に迫られたことが記録されています。

「さて、人々は、イエスの言葉じりをとらえて陥れようとして、ファリサイ派やヘロデ派の人を数人イエスのところに遣わした。彼らは来て、イエスに言った。『先生、わたしたちは、あなたが真実な方で、だれをもはばからない方であることを知っています。人々を分け隔てせず、真理に基づいて神の道を教えておられるからです。ところで、皇帝に税金を納めるのは、律法に適っているでしょ

うか、適っていないでしょうか。納めるべきでしょうか、納めてはならないのでしょうか。』(マルコによる福音書12章13〜14節) イエス・キリストは、この問いに対して、彼らの持っていたデナリオン銀貨を用いて、「これは、だれの肖像と銘か」と問い、逆に彼らに「究極の選択」を求めました。彼らは「皇帝のものです」と言い、イエスは「皇帝のものは皇帝に、神のものは神に返しなさい」とお答えになりました。「皇帝のものは皇帝に、神のものは神に返しなさい」というイエスの回答は、皇帝か神かという二者択一ではなく、この世の律法や知恵を超えた神の知恵と真理を示し、イエスを試し陥れようとした人々の言葉の罠にかかることはありませんでした。

究極の選択、それがラジオ番組の言葉遊び程度ならよいのですが、私たちは人生の中で、イエス・キリストのように、試されるような「究極の選択」に迫られることもあることでしょう。イエス・キリストが真の「究極の選択」に迫られたのは、ゲツセマネでの祈りの時でした。この時イエス・

キリストは深い苦悩の中で、「父よ、御心なら、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの願いではなく、御心のままに行ってください」(ルカによる福音書22章42節)と祈られ、弟子の裏切りによる捕縛、そしてその先にある十字架の死に至るまで、一切の選択を神に委ねたのでした。

クリスチャンのアクセサリーに「WJJD?」と刻まれたものがあります。これは「What would Jesus do?」の頭文字をとったもので、「ジーザス(イエス・キリストのこと)なら何をしようか?」という意味です。これを見る者にイエス・キリストの行動を思い起こさせるものです。

私たちが究極の選択に迫られたとき、そのような時こそ聖書に立ち返り、「WJJD? イエス・キリストならどうするか?」と問いかけたいと思います。そして、イエスのように、神が「万事を益となるようにして下さる」(ローマ人への手紙8章28節・口語訳)と信じて、神に委ねて歩みたいものです。

(救世軍士官(伝道者))

# 神様がいてくださるから大丈夫 —喜んで仕えながら歩む



大竹 美菜子 さん（救世軍名古屋小隊所属）

誰一人として同じではない人生の歩みの中で、イエス・キリストに出会い、救いに至る道すじは様々です。大竹美菜子さんは、大病をきっかけに神様と出会い、名古屋小隊（教会にあたる）に通うようになりました。「神様がしてくださったことなら、神様が責任を取ってくださる。」その確信に支えられた信仰の歩み、小隊生活の恵みについて、お聞きしました。

## 生い立ち

私は父母と兄、祖母の五人家族の中で育ちました。家には仏壇も神棚もあり、それらを拜むことは強制されませんでした。目に見えない存在があるということとは、幼い頃から身近に感じながら過ごしました。母

がキリスト教に関心があり、救世軍の士官（伝道者）と出会ったことから、浄心小隊（教会にあたる）の日曜学校へ連れて行ってもらったこともありました。当時は、小隊で遠足やクッキングがあるよ、と言われれば楽しみに参加していたような感じでした。神様を信じていたというより、教会という場所を知っていたという感覚です。

## 救いの経験 病の床で

成長するにつれ、私は兄のように明るく生きられない自分に劣等感を抱くようになり、高校生活になると、「とにかく楽しく生きたい」と思い、自分の楽しみを追い求める毎日を送るようになりました。でも、ただ遊んでも心は満たさ

れません。一日遊んで帰って来ると、また次の楽しみを探さなければならぬ。遊ぶのも疲れるんです。その繰り返しで、心は少しも休まりませんでした。

そんな生活が続いていた二十五歳の時、盲腸になり、そこから腹膜炎、多臓器不全となり、一カ月間意識不明になりました。母はその頃すでに救世軍の兵士（信徒）となっており、「この子の頭だけは守ってください。聖書が読めるようにしてください」と祈っていたそうです。意識が戻った時、私は全身に管がつながれ、身動きもできませんでしたが、頭だけは不思議なほどはっきりしていました。母は毎日のように聖書の話を一生懸命聞かせてくれました。振り返ると、私もあの時が人生で一番素直だったと思います。母の話を一生懸命聞いて、ああそうだった、日曜学校で神様の歌を歌ったなと思い出しました。

な時、母が持ってきてくれた三浦綾子さんの『新約聖書入門』を読み、ヨハネによる福音書九章の御言葉に出合いました。「さて、イエスは通りすがりに、生まれつき目の見えない人を見かけられた。弟子たちがイエスに尋ねた。『ラビ、この人が生まれつき目が見えないのは、だれが罪を犯したからですか。本人ですか。それとも、両親ですか。』」イエスはお答えになった。『本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである。』（一―三節）

これを読んだ時、不思議と心が変わりました。この病気も今の状況も、神様がなさったことなんだと思えば、それならば神様が責任を取ってくださる。そういう前向きな思いが与えられて、それまで抱えていた恐れ、怯えが消えていったのです。母からは「あなたは今は笑うことしかできないんだから、笑っていなさい」と言われ、笑って過ごすようになりました。そして、「神様は本当におられる。神様がいてくださるから大丈夫だ」と信じるようになりました。それが私の救いの経験です。入院生活は続きましたが、心で、神様が一緒にいてくださると信じた時でした。

## すべて神様がしてくださる―病の癒しの過程

それからは、神様の導きを確認する出来事の連続でした。最初のうちは透析治療を受けていたのですが、ある医師との出会いによって、早いうちに透析を離脱することができました。その後、その先生が主治医になってくださったこと、移植で有名な病院への転院、腎移植への道筋など、振り返るとすべてが不思議なほど備えられていました。私が心配しなくても、神様が先に先に道を備えてくださったんです。

移植から二十二年が経ちますが、今、自分の健康や命については不思議なくらい不安がありません。「神様が責任をもってくださる」と、実際に、目に見える形で経験してきたからです。交通事故に遭ったこともありませんでしたが、そのたびに守られてきました。本当に、神様と出会ったあの日からず





## 世界をみつめて

### 〈ベネズエラ〉大地震被災地での支援活動

6 月 24 日、南米ベネズエラの北部でマグニチュード 7.2 と 7.5 の強い地震が連続して発生し、首都カラカス周辺を含む広い地域に甚大な被害をもたらしました。7 月 18 日には死者が 5,000 人を超えたと報道されました。

ラテンアメリカ北部地域の救世軍は、発災直後から被害状況とニーズの確認を開始し、カラカス中心部、歴史地区、エル・フンキートのキロメトロ 24 地区などで緊急支援活動をおこないました。救援チーム



は衛生用品や基本的な救援物資、小麦粉、砂糖、米、缶詰などの食料を配布し、仮設避難所で暮らす家族にも支援品を届けました。

物資の提供に加え、救世軍は被災者や家族に、祈りと霊的ケアを届け、疲労や不安、悲しみの中にある人々に寄り添っています。また、市民保護当局や救助隊と連携し、がれき撤去などにあたる最前線の人々に、食事や温かい飲み物、衛生キットを提供しています。

発災から 1 カ月が経とうとする現在、支援は緊急対応の段階から、復旧に向けた活動へと変わり始めています。一方で、余震は 800 回以上記録され、道路の損傷、車両不足が支援活動の大きな課題となっています。救世軍は、他団体と連携しながら、支援が届きにくい地域への配布、継続的なニーズ調査、国際緊急支援チームによる追加支援の準備を進めています。(7 月 21 日現在)



### 〈スイス、オーストリア、ハンガリー〉大將の訪問と特別集会

6 月 27 ～ 28 日、世界の救世軍のリーダーであるバッキンガム大將夫妻はスイスのトゥーンで開催された「ミート & セレブレイト 2026」に参加しました。「御国が来ますように」をテーマにしたこの集会には、スイス、オーストリア及びハンガリーの救世軍から約 1,200 人の士官 (伝道者)、兵士 (信徒)、関係者が参加しました。

バッキンガム大將は聖書から、参加者一人ひとりが自らの生活の中でキリストを王として迎えるようメッセージしました。若い人々が活躍し、どの集会でも 20 代前半の司会者が進行役を務めたことも今回の特長でした。

集会に先立つ 6 月 26 日には、大將夫妻はシヨン城を訪れ、スイス連邦大統領ギー・パルムラン氏との会談をおこないました。



青年からのインタビューに答える大將夫妻



## 救世軍とは？ What is the Salvation Army?

救世軍は、世界 134 の国で活動するプロテスタントのキリスト教会で、国際本部は英国ロンドンにあります。1865 年、英国のメソジスト教会の牧師ウィリアム・ブースと妻カサリンによって始められ、東ロンドンのスラム街で困難な生活状況にある人々に助けの手を伸べつつ、神様の愛を伝えてきました。

創立当初からのモットーのひとつは、「スープ (Soup : 食事)、ソープ (Soap : 石けん、衛生)、サルベーション (Salvation : 救い)」です。人々の具体的なニーズにこたえる活動とともに、すべての土台であるイエス・キリストの愛と希望が広がることを願っています。日本では、1895 (明治 28) 年に英国から士官 (伝道者) が派遣されて活動が始まり、今年で 131 周年を迎えます。現在、小隊 (教会にあたる) での伝道や地域奉仕とともに、病院、社会福祉施設 (保育、児童養護、高齢者支援、女性自立支援、アルコール依存症者回復支援) を通しての働き、街頭生活者支援、災害時の緊急支援などの活動をおこなっています。

## 救世軍感謝祭募金

Harvest Festival Appeal 2026

日本国内での救世軍の働きを支えるものとして、毎年 9 月におこなっています。救世軍に属する者がまず献げると同時に、広く皆様にご協力をお願いしております。ご理解とご支援を賜りますなら幸いです。

### ☆『キッズ・ゴスペル』コーナー☆ (子ども向け紙面)



左の QR コードから、『キッズ・ゴスペル』を閲覧できます！ 子ども向けの聖書のメッセージです。どうぞご覧ください！

### 救世軍公報 ときのこえ

発行日 福音版 / 毎月 1 日、広報版 / 奇数月 15 日  
定 価 福音版 / 1 部 40 円、広報版 / 1 部 100 円  
(税込) クリスマス特集号 (12 月 1 日号) / 1 部 100 円  
振 替 00180 - 5 - 4400  
発行兼 救 世 軍  
印刷人 代表者 西村 保  
編集人 平本 祐子  
発行所 救世軍本館 <https://www.salvationarmy.or.jp>  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-17  
電話 03-3237-0881 (代表)  
Mail [jpn.editorial@jpn.salvationarmy.org](mailto:jpn.editorial@jpn.salvationarmy.org)  
印刷所 有限会社コーチ印刷



聖書は新共同訳を使用しています © 共同訳聖書実行委員会 © 日本聖書協会 救世軍は、旧統一協会、エホバの証人、モルモン教ではありません。これらの問題でお悩みの方は、下記救世軍にご相談ください。

### 【取り扱い支部】

救世軍への連絡をご希望の方は、以下の中から該当する項目及び住所氏名をご記入の上、救世軍本館 (左記) もしくは、上記救世軍にご連絡ください。

- ・私の近くの救世軍を紹介してください。
- ・キリスト教についてもっと知りたいです。
- ・『ときのこえ』の購読を申し込みます。
- ・相談を希望します。